



越前町
ECHIZEN

2005. 11. 1
vol. 2

議会だより



日本原子力発電所（敦賀）視察

おもな内容

- ☆ 九月定例会 2
- ☆ 一般質問 3
- ☆ 議員研修報告 8



九月定例会

(障害保育及び産休、
育休、看休の代替)
面復旧工事費

一、ごみステーション設
置事業費

一、小学校交流事業費
(糸生小学校とタイ国
立カセサート大学付属
小学校)

のり

一、泰澄の杜駐車場の法
シヨン開催費

立カセサート大学付属
小学校)

コートの披覆用シート

一、ホッケー場のクレー
購入費

コートの披覆用シート

一、宮崎中学校の冬期間
スクールバス運営費

コートの披覆用シート

一、宮崎地区農地災害復
旧工事費(五月豪雨時
の被災)

コートの披覆用シート

一、氣比庄地区的農地高
度利用促進事業費

コートの披覆用シート

一、水産鮮度保持施設設
置事業費

コートの披覆用シート

◎ 農林水産関係
一、食育推進計画費(地
産地消)

◎ 教育関係
一、宮崎中学校の冬期間
スクールバス運営費

◎ 災害復旧費
一、宮崎地区農地災害復
旧工事費(五月豪雨時
の被災)

◎ 商工費
一、イルミネーション事
業助成費

◎ 建設関係
一、路線の台帳修正業務
委託費

一、ホッケー場のクレー
購入費



総合運動場（朝日地区）

九月二十日から二十二
日までの三日間の会期で
九月定例会が開催され、
次の議案が原案通り可決
されました。

① 報告案件 四件
② 議案 二十四案

ト使用箇所三十二ヶ所
の精査、分析費
一、安全安心町づくりの
ための広報用マグネット
ト作成費

（一般会計補正予算の主
なものを抜粋）

一、公共施設のアスベス
ト
一、臨時保育士の人事費
事業費



泰澄の杜・法面（朝日地区）



農地災害復旧事業（宮崎地区）



12月議会の傍聴
において下さい。

日程については、
議会事務局にお問い合わせ下さい。

9月定例会 般質問

乳幼児保育の充実



安井 賢二

若者の定住や安心して子育てのできる環境支援を行っている町政の中で、朝日地区の公立四保育所では一歳六ヶ月の幼児からしか保育の受け入れをしていない。これはなぜか。ほかの三地区、宮崎三、越前一、織田一、この五保育所では、乳児あるいは一歳児から保育しているが、朝日地区だけが一歳六ヶ月からというのはおかしいのではないか。強い要望があるので、是非育児休業の明ける一歳児からの保育に取り組んでいただきたい。

問 合併協議会において、乳幼児保育の受け入れ年齢は、新町において新規内容で検討するとなっています。今後、町としては、あらゆる施策を通して人口減少に備えることにしております。その観点から子育てに対し、充分に支援することは、私の基本的なスタンスです。

朝日地区の公立四保育所は、離乳期にあるお子さんを預かる施設としては、未整備で現在受け入れ体制ができていません。公立四保育所によれば、現在のところは離乳食の必要な生後一歳六ヶ月までの乳幼児について、受け入れ要望はないということです。



行き止まり道路

入れるための改築をしており、現在、生後六ヶ月から一歳未満のお子さんは九名、一歳以上一歳六ヶ月未満のお子さんが十名入所しています。

朝日地区の公立保育所においても、特に離乳食を作れるような給食設備を作れるよう、新規内容で検討するとなっています。今後、町として、できるだけ早い

さと道路牛越・横山地係の道路がほぼ八十%以上の工事が終了し、残り二十%の工事が止まっています。上で、できるだけ早い

昨年の合併協議会の中

時期に整備していかなければならぬと考えております。

問 行き止まり道路の一つとして、ふるさと道路牛越・横山地係の道路がほぼ八十%以上の工事が終了し、残り二十%の工事が止まっています。急に進める整備道路として要望した。地元住民の期待は非常に大きく関心が高いので、一日も早く開通するよう急に進める整備道路として要望した。



町長

平成六年、県営

の中山間地総合整備事業の中で進めてきた事業ですが、予算内での完成ができませんでした。

このため今後十八年度の新規事業として、県営の中山間地総合整備事業福井越前地区の新規採択について、国や県に対して要望を行っています。この事業の中で早期に着工して完成させたいと思っております。

答 町長

公共工事の費用が減額される厳しい時期ですが、地域住民の皆さんのが要望ですので、国あるいは県に引き続き要望を行いたいと考えています。

自主財源の拡充を



田中 太平

には制定したいと思いま
す。

誘致する意向はあ
るか。また、その

目的は何か。

企業誘致の土地は
確保できているか。

町長
浸透していると
理解しています。

町長
であると思います。
行政の健全化と
行政サービスのあ
り方を問いたい。

町長
できていません
が、適地の提案、地権者
との調停を積極的に行い
ます。

町長
お役所的な仕事の
考え方、進め方と
いう風潮はないか。

が町にとって有益かどうか

有益な企業は積
極的に誘致します。また

農業集落排水処理

町長
無駄な歳出を省
き、適正な受益者負担を
回ります。今後は、人口
二万七千人を目指し、税
源アップを取り組みます。

かの調査を実施し、有益
な企業と判断した時は積
極的に誘致に向け仲介し
ます。

企業誘致条例は制
定されているか。

町長
企業誘致条例は
ございません。十八年度
まで雇用された従業員の
町民税などを確
保することが目的といえ
ます。

が町にとって有益かどうか
かの調査を実施し、有益
な企業と判断した時は積
極的に誘致に向け仲介し
ます。

町長
企業誘致条例は
ございません。十八年度
まで雇用された従業員の
町民税などを確
保することが目的といえ
ます。

企業誘致条例は制
定されているか。

町長
企業誘致条例は
ございません。十八年度
まで雇用された従業員の
町民税などを確
保することが目的といえ
ます。

町長
町建設計画の中
での町税見込額と、
平成十七年度の予算額に
大差があるがなぜか。



工場進出予定地

漫透しているのか。

町長
町長の町政への熱
意や意向は職員に
どれだけ取り組めるか

答
商工観光課に担当職員を置き、進出時期・希望場所を聞き進出企業

問
町では企業誘致に
対してどういう体制をとっているか。

答
減額となることもあります。

問
景気の動向により大幅に
減額となることもあります。

答
建設計画の見込み額は
平成十七年度の予算額に
大差があるがなぜか。

町長
建設計画の見込み額は
平成十七年度の予算額に
大差があるがなぜか。

答
商工観光課に担当職員を置き、進出時期・希望場所を聞き進出企業

問
町では企業誘致に
対してどういう体制をとっているか。

答
減額となることもあります。

問
景気の動向により大幅に
減額となることもあります。

答
建設計画の見込み額は
平成十七年度の予算額に
大差があるがなぜか。

町長
建設計画の見込み額は
平成十七年度の予算額に
大差があるがなぜか。

答
自治体同士の垣根が低くなっている今、住民のニーズにあつた行政を理想とする町づくりにどれだけ取り組めるか

問
地域間競争は経済に対する法的な手続き、指導、書類の審査などの相談は行いますが、特別な補助は考えていません。

答
町長の町政への熱意や意向は職員にどれだけ取り組めるか。

問
町長の町政への熱意や意向は職員にどれだけ取り組めるか。

答
町長の町政への熱意や意向は職員にどれだけ取り組めるか。

問
町長の町政への熱意や意向は職員にどれだけ取り組めるか。

答
自治体同士の垣根が低くなっている今、住民のニーズにあつた行政を理想とする町づくりにどれだけ取り組めるか。

問
地域間競争は経済に対する法的な手続き、指導、書類の審査などの相談は行いますが、特別な補助は考えていません。

答
町長の町政への熱意や意向は職員にどれだけ取り組めるか。

問
町長の町政への熱意や意向は職員にどれだけ取り組めるか。

答
町長の町政への熱意や意向は職員にどれだけ取り組めるか。

問
町長の町政への熱意や意向は職員にどれだけ取り組めるか。

答
町長の町政への熱意や意向は職員にどれだけ取り組めるか。

地域農業の振興と活性化



堀 弘忠



梨ヶ平棚田（越前地区）

問

本年三月、国が新たに『食糧・農業、農村計画』を発表した。

それを踏まえると、当町の水田は約五十%が中山間地域に属し、各集落は地域の実態に即し、意欲のある担い手の育成、一体性の高い集落営農を地元と共に立ち上げるべく進めていくが、多くの諸問題がある。

まず、専業農家が少なく、その上大半の耕作者は高齢者である。前回の調査では、当町の六十五歳以上の農業就業者は、全体の約三十六%を占めている。このため、特に

中山間地においては、毎年荒れた農地や農道、水路等が増加しているため、自然環境の保全が出来なくななる恐れもある。そこで町内農家がこの様な厳しくなり、災害の発生源となる

い環境の中で、将来展望のある農業のため、ますます意欲のある担い手、集落における組織づくり等受け皿作りが最も大切な課題と考えるが、新たな基本計画についてどのように進めていくのか伺いたい。

答

町長

町内では認定農業者

者が二十三人、それか

を図ることが非常に大事と考へております。そのため今年の七月には町、県、JA、農家組合長等で構成する町の担い手支援協議会を立ち上げ、この協議会を中心として地域農業のレベルアップを図るために受け皿作りをやっていきたいと思います。

目標として平成十九年には五十%のシェア、米政策大綱の終わる平成二十二年には六十五%を目指したいと思っています。

町としては農林水産業の一次産業を育成すること

が大事ではないかと常々思っています。

前ブランド化していく様な取り組みも大事だと思います。農業への意欲をかりたてるような助成制度を作っていく必要があると思います。又、役場内にプロジェクトチームを作り越前町型の農業ビジョンを策定中で、十八

い環境の中での将来展望のある農業のため、ますます意欲のある担い手、集落における組織づくり等受け皿作りが最も大切な課題と考えるが、新たな基本計画についてどのように進めていくのか伺いたい。

地域農家の活性化のため、各地区的条件に整合した手法での地域農業の活性化

年度には発表できると思

ります。

地域農業の活性化については稲作を中心とし、地域の特産物について宮崎地区での「おもいでな」や道の駅、花の茶屋等の直売所を通して町全体の特産品として伸びるような考え方方が大事かと思います。又、環境に優しい農業を取り入れて、付加価値を図り、越前ブランド化していく様な取り組みも大事だと思います。農業への意欲をかりたてるような助成制度を作っていく必要があると思います。又、役場内にプロジェクトチームを作り越前町型の農業ビジョンを策定中で、十八

認定農業者



織田分遣所の今後



繁

木村

答

町長

朝日地区の消防分遣所は平成十年に、越前地区の分遣所は平成十六年に移転改築がなされており、織田分遣所は大

変老朽化し職員の増加により手狭になっているのはご指摘のとおりです。新町の建設計画の中でも平成十九年度あるいは平成二十年度をめどに改築の計画があります。

宮崎地区に分遣所がないので、織田地区と宮崎地区の中間地点あたりに、分遣所よりも機能を高め

た消防防災・救急の総合拠点施設として鯖江・丹生消防署の分署のようなものを建設することがベストと考えます。

町の安全安心を考える上で、出来るだけ早く整備を図るのが望ましいので、来年度に、鯖江・丹生消防の会議において提案をしたいと考えております。

今年の冬からは、朝日地区と宮崎地区で保有している除雪車十一台は民間に貸与することになる

例によって調整すること、除雪作業については原則として民間委託とし、対応が困難な場合は必要に応じて調整することになります。

今年の冬からは、朝日地区と宮崎地区で保有している除雪車十一台は民間に貸与することになる

新町の除雪計画について伺いたい。

合併前は、朝日地区と宮崎地区は職員による直営、越前地区と織田地区は民間委託にて実施されてきた。

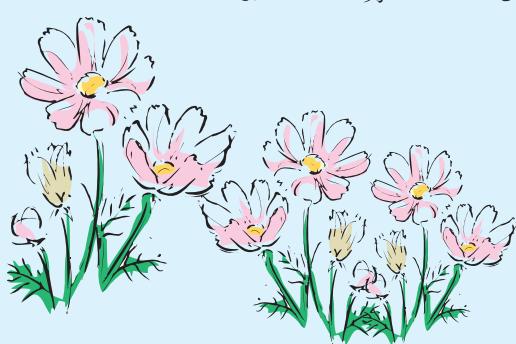
合併後は、合併協議会において民間に委託して実施すると決定しているが、町保有の除雪機械の今後の取り扱いをどうするのか、職員から民間に変更して実施する地区については、今までどおりの行き届いた除雪が実施できるのか伺いたい。

答 除雪基準について

町長



織田分遣所



織田地区と宮崎地区の中間地点に消防署の二次署的位置付けで、越前町消防防災・救急の総合拠点施設を整備する計画があると聞くが、町長の所見を伺いたい。

問

織田分遣所は昭和四十九年に建築され、築三十一年で老朽化が著しく、消毒室もない。また、当初八人体制を基本に整備が図られたが、現在十人体制となつたため、所内が非常に手狭で仮眠室にも困っている状況である。さらに宮崎地区には、分遣所がない。

織田地区と宮崎地区の中間地点に消防署の二次署的位置付けで、越前町消防防災・救急の総合拠点施設を整備する計画があると聞くが、町長の所見を伺いたい。

合併後は、合併協議会において民間に委託して実施すると決定しているが、町保有の除雪機械の今後の取り扱いをどうするのか、職員から民間に変更して実施する地区

は、委託する業者と十分に協議し、除雪サービスの低下を招かないよう努めたいと思っております。

入札の適正な執行を



時 田 修一郎

自分自身にも言い聞かせ、職員にもことあるごとに伝えていきます。

事務所では、工事十七件、請負率八十八・三%、越前総合事務所では、工事三件、請負率九十六・四%

、織田総合事務所では、工事十一件、請負率九十四・〇九%です。

削減に取り組んでいただきたい。

町長

ご指摘のとおり、地方公共団体は、その事務を処理するに当たり、住民の福祉の増進に努めるとともに最小の経費で最大の効果を上げなければならぬと考えます。

所や、アスベストが拡散しない場所ですが、これらを、精査分析するための経費を九月補正予算に計上しております。結果については随時利用者にお知らせし、適正な施設利用を図りたいと考えています。

**答
町長**

五百萬円以下の工事等の入札に関わる事務については総合事務所の所長が執行することとなっています。

八月三十一日現在で、本庁で、工事七十一件、請負率、(平均で)九十四・二%、宮崎総合

業者間の談合が発覚した場合はどのような罰則規定があるのか。

なる中で談合などの不正を防止するために電子入札を導入するなど、公共工事の適正化、経費

地方財政が厳しくなる中で談合などを防ぐためには、アスベスト使用状況について説明をして欲しい。

丹生高校と朝日中学校の中高一貫教育は、将来の丹生高校の存続のためにも町内の他の中学校にも拡大して欲しい。

町長

またこの問題に関しては、いち早く工事費用など補正で対応して欲しい。

丹生高校と朝日中学校の中高一貫教育は、将来の丹生高校の存続のためにも町内の他の中学校にも拡大して欲しい。

新町の入札方式並びに創設した監理課の役割について説明願いたい。

**答
町長**

刑法第九十六条

の三により、二年以下の懲役又は二百五十万円以下の罰金に処することとなっています。また指名停止の処分もすることになっています。

いたい。

旧町村並びに県の執行方法を参考に、府内で協議して統一した方式、書式で執行していくままで監理課を独立させました。官製談合を阻止するため監理課を独立させました。入札委員会を設けて、これも独立させ、入札に参加させる業者選定の権限を持たせる体制を整えたいと思っています。

**答
町長**

業者からの誘いに

対して、理事者や職員は毅然とした態度が取れるかどうか伺いたい。

総合事務所の所長の入札業務について伺う。

**答
町長**

官製談合の件につ

ついては、このようなことがあつてはならないと、



アスベスト使用施設（勤労者体育センター物置）

所あわせて三十二ヶ所に使われております。いず

れも、普段人がいない場所や、アスベストが拡散しない場所ですが、これらの経費を九月補正予算に計上しております。結果については随時利用者にお知らせし、適正な施設利用を図りたいと考えています。

町長

設計書などでアスベストを使用している

施設の概要調査の結果、

保育所で一ヶ所、小学校校舎で三ヶ所、同プール管理棟二ヶ所、同体育馆一ヶ所、中学校校舎三ヶ所、同体育馆一ヶ所、給食センター二ヶ所、生涯学習センター三ヶ所、勤労者体育センター三ヶ所、勤

業者体育センターほか十三ヶ所

生徒数の問題等大変難しい問題もありますが、丹生高校の今後の発展、存続を強力に推し進めるに

は、他の中学校への拡大も検討する必要があると考えています。

丹生高校と朝日中学校の中高一貫教育は、将来の丹生高校の存続のためにも町内の他の中学校にも拡大して欲しい。

町長

教職員の配置、

丹生高校の今後の発展、存続を強力に推し進めるに

は、他の中学校への拡大も検討する必要があると考えています。

議員研修報告

平成十七年
十月四日(火)～六日(木)



瀬高町にて交流会

①福岡県山門郡
瀬高町へ表敬訪問



湯布院町で町づくり説明会

瀬高町が合併し、「市」となっても建設的な交流を続けることで合意しました。

今後の交流については、瀬高町が合併し、「市」となっても建設的な交流を続けることで合意しました。

施しました。

湯布院町は温泉の町として全国的に脚光を浴びてきました。

なぜなのか、疑問を解消するために、今回は合併までの湯布院の町づくりに積極的に関与した前

ています。

安心院町は、グリーン

ツーリズムの盛んなところで、安心院型グリーンツーリズムで町づくりを推進しています。盆地である安心院町の主産業は農業で、米のほか地形に適したブドウや畜産、野菜、花き等が盛んに栽培されています。

安心院町議会を尋ね、湯布院支所(旧湯布院町役場)で町づくりの取り組みについて伺いました。一日平均一万人超の観光客が訪れる湯布院は、町づくりのキーワードを、「最も住み良い町こそ優れた観光地である」としてい



宇佐市役所安心院支所取り組み説明会

の「幸若舞」を縁に姉妹町として交流が始まり、十年以上も続いています。

今回の訪問では、当町の関町長と議員が、瀬高町の鬼丸町長や議員と懇談し、交流を通して友好を深めることを目的に実

方は、このキーワードに凝縮されました。

いる人が住みやすい町こそが、観光客に親しまれると考えているわけです。湯布院の町づくりの考え方方は、このキーワードに凝縮されました。

新しい町づくり」とだと考え、積極的に取り組んでいます。今回は宇佐市安

心院支所(旧安心院町役場)を訪れ担当者から、過疎・中山間地域での町づくりの取り組み状況を伺いました。



◎藤井 文夫
○田中 太平
木村 安井
島田 上坂 齊藤 洋一
佐々木 敬三 繁 昭夫 賢二

編集後記

雪の中の合併から、春、夏、黄金色の収穫の時を経て、目に鮮やかな錦秋となりました。その間、町政発展のため私たち議員一同は、行政と切磋琢磨し、緊張の中にも融和へと向かっているのを感じます。

九月定例会では傍聴にたくさん来ていただき、ありがとうございました。

広報委員会ではより良い「議会だより」を目指しあ届けいたしました。

たく、皆様のご意見・ご投稿をお待ちしています。(田中)議会広報委員会